

目 次

研究論文

オモ・グルーペの「身体性の理論」に関する歴史的検討	
——ドイツ学校体育思想史研究序説——	釜崎 太 1
「体育学」の構造について——「研究対象」との関係において——	伴 義孝 15
運動部活動のパラドックス	久保正秋・服部豊示・石垣健二・阿部悟郎 31

研究資料

「オリンピズム」に関する研究動向	舛本直文 45
日本体育学会研究発表にみる体育原理研究の半世紀	小林勝法・三原幹生 57

研究報告

<定例研究会より>

語りとしての運動経験——二極化を超える契機——	山口順子 65
スポーツと美に関する哲学的検討	舎川朋弘 75
「乳幼児の運動教育」への提言	笛部桂子 83
オリンピズムと日本宗教の関係について ——聖火リレーを中心として——	田中一郎 89

国際スポーツ哲学会報告	樋口聰 93
-------------	--------------

<夏合宿研究会より>

「健全なる身体」への疑問——古典的身体観の末路——	林英彰 97
スポーツにおけるミーメーシスの問題 ——アリストテレス『詩学』を中心に——	笛木寛 103

身体技術の価値——プラトン『ゴルギアス』520Bの視点——	三原幹生 109
-------------------------------	----------------

人間の身体運動の研究の階層的構成	石川旦 113
------------------	---------------

生活運動の積極的体育性 ——生活・生存型体育観を基礎にして——	金原勇・廣橋義敬 117
------------------------------------	--------------------

舞踊創作と世界地平——世界地平は、ここにおいて、	
--------------------------	--

生きられる媒体として隠れている——	笛部チトセ 121
-------------------	-----------------

スポーツ科学が捉えてきた「身体」——身体と心の不調和——	新保淳 127
------------------------------	---------------

東洋的身体修練と言葉の問題 ——現代の知的状況からの原理的追溯——	田中賢吉 131
--------------------------------------	----------------

修養主義と身体に関する研究——身体の第二義化と人格——	鈴木康史 139
-----------------------------	----------------

<日本体育学会第48回大会専門分科会シンポジウムより>	
運動の知性的意味を探る (1) ——運動と知性—— (シンポジウム A)	143
提案の趣旨とまとめ	滝沢文雄・井上誠治
運動に独自な知とは何か	讓原晶子
対人競技では何が見えるか：空手道競技の場合	藤田幸雄
運動すると何が生じるか	原田憲一
運動部活動のパラドックス (シンポジウム B)	31
提案の趣旨とまとめ	久保正秋・服部豊示
運動部活動における「体育論的射程」のパラドックス	阿部悟郎
運動部活動における「指導ー学習」のパラドックス	石垣健二
運動部活動における「教師と子どもたち」のパラドックス	片岡洋子
(久保らを中心とした研究論文としてまとめて掲載)	
<日本体育学会第48回大会専門分科会キーノート・レクチャーより>	
体育の目標はどう変わるか	森知高 157
事務報告	分科会事務局 165